家庭園芸

"肥料の使い方"

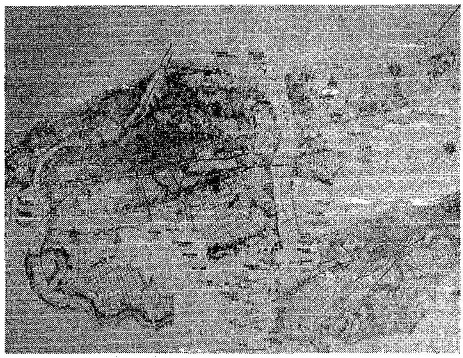
園芸植物を育ててゆくのに、まず肥料のことが頭に浮かびます。庭木、花だんや鉢物に、どんな肥料をいつの時期に、どのくらいなどということはつねに関心のもたれるところです。肥料は有機質肥料と無機質肥料（化学肥料）に分けられていますが、性質を知っておくことが大切です。有機質肥料には油粕類、鶏ふん、骨粉など動植物をもとにするもので、除々に分解してゆるやかに長く効いてくれます。肥料の成分量も少なく、少しぐらい量をまちがえても肥料あたりの障害がでにくく、大変使いやすいものです。元肥として、また鉢物によく使われています。

無機質肥料は、単肥としての硫安、過石、硫加など、それにいくつかの成分の処理された化成肥料などがあり、一般に効きめが早く、流汎も早い性質ですが、おそ効きの性質の加えられたものもあります。ただ、大部分のものは、肥料成分が高いですから、使い方を誤ると肥あたりをおこし、失敗します。鉢物には注意が必要です。肥料はつねに、土作りと平衡して考えてゆきます。

ご相談は 園芸センター（☎86—1034）へ。月曜日は休園です。（月曜が祝日のときは火曜日休園）

市内の遺跡をまとめた「遺跡包蔵地分布地図」が完成

新潟市内の遺跡の分布状況を調査し、その位置をまとめた「新潟市遺跡包蔵地分布地図」がこのほど完成しました。


完成した「新潟市遺跡包蔵地分布地図」

遺跡の保護に役立つ

遺跡は「大地に刻まれた歴史」とも言われ、文字に書かれていない時代や、文字のない祖先の歴史を知るために重要なものです。しかし、土地との関係が深いため、宅地開発や土木工事で失われてしまう例もたくさんあります。

そこで、市では、市内にある遺跡包蔵地（注）の正確な位置や内容を把握し、今後の保護に役立てようと、昭和四十七年から「遺跡包蔵地調査」にとりかかり、その結果を一枚の地図にまとめ上げました。

調査には、考古学研究家の故**上原甲子郎**さんと**酒井和夫**さんがあたり、約八年間にわたる遺跡包蔵地調査が続けられました。

今回の調査により、市内四十七カ所の遺跡包蔵地の現状が明らかになるとともに、佐潟周辺を中心にして新たに十四遺跡包蔵地が発見されました。

調査にあたった酒井和夫さんは、「新潟には文化財などの見るべきものがないという声を耳にしますが、そんなことはありませんね。研究している人が少ないために、発見されてないものがたくさんあります。明治から大正時代に失われてしまったものも多いですよ。

市内では、赤塚、大江山地区、東港周辺などに多くの遺跡包蔵地がありますが、捜せばまだまだ出てくると思います。

これからも調査を続けて、一か所でも多く、開発から守っていきたいですね」と語っています。

（注）遺跡包蔵地
土器、石器、貨銭、人骨などの「遺物」や、古墳、住居跡などの「遺跡」を包含している土地をさす。

力を合わせて校風作り
～東中野山小学校～

ぼくたちの学校は、創立五年目の新しい学校で、周りは田んぼに囲まれています。田植えが終わると、緑のじゅうたんになり、秋になって稲が実ると、黄色のじゅうたんをひいたようにとてもきれいです。

ぼくたちの児童会活動はとてもさかんです。若草児童会と名づけられ、それに児童会旗もあります。児童集会には、この旗のもとに集まって、いろいろなことをします。ですから十二月のクリスマス集会が今から楽しみです。

それに課外活動もとてもさかんです。ミニバスケット、音楽など、がんばっています。ミニバスケットボールでは、全国大会に参加したこともあります。

今、全校でよき校風作りに力を合わせています。

田口誠（六年）

メモ 猿ケ馬場九、昭和五十一年創立、児童数千八十一人、野沢泉校長

全校すもう大会

市長随想

朝の光の中で

こんな時期、あまり例がないのだが、今朝は明るい光が狭い部屋に差しこんでいる。空もよく晴れていて心がなごむ。すぐ前の学校の屋上やグランドは白一色だけれども、数本の裸木の枝は全く動かない。風がないんだな。それでも窓をあけると、光とともに冷気が飛びこんできて、身も心もキリリとしてくる。

天気予報のテレビの画面は、いつも雪ダルマがついている季節だけれども、たまには陽が拝める。注意して見ていると、光の差しこむ方向が確実に変っているのに気がつく。陽がのぼる方位が次第に東に移っているのだ。全く当り前のことだが、自然の運行に妙に感心するのである。

昼と夜の時間の変化もそうである。新聞の気象欄によれば、今日の日の出、日の入りの時刻は、それぞれ六時五十八分、十六時五十一分で、冬至の日は、日の出六時五十六分、日の入り十六時二十九分だったから、二十数分間も日が長くなっている。一日わずか一分にも満たない計算ではあるが、確実に日が長くなってその先に春があることを実感できる。それにしても降雪はこれからどうなるか油断はできないが、いまのところ除雪車は市内の周辺部に若干出動しているだけで、これにくらべると魚沼や上越地方、そして富山、福井などの豪雪被害を見ていると大変だなと思う。これらの地域のひとびとは、毎日が雪との闘いであって、一寸でも青空が出ると、一家総出で雪の始末に追われて、こんなのんびりした気分にひたるわけにはいかないだろう。

日曜の朝のひととき、こんな気分で過ごしたのである。

（一月十八日）

新潟市長 川上喜八郎

健康ひとくちメモ

老人の心のやまい

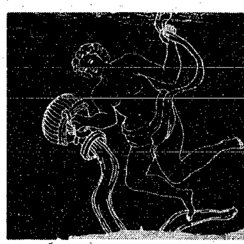
近年日本人の平均寿命がのび、老人医療の問題が国民の関心を集めていますが、老人の心のやまいも、近い将来に大きな社会問題になってくると思われます。

老年期の精神障害はさまざまな原因が入りまじっているのが特徴です。脳細胞の萎縮、脳動脈の硬化などによっておこる痴呆（ボケ）が代表的なものですが、ほかにも今までの地位、収入や家族、友人などを失う、心理的環境的な原因や、生来の性格傾向などが絡みあって、うつ病、被害妄想、錯乱、ノイローゼもしばしばおこります。

老人は環境変化への対応力が低下していますから、こんな場合、なんでもすぐ入院というのは間違いで、できればその人の日頃の生活習慣に逆らわない環境で治療できれば最上です。また、治療を急ぐと思わぬ薬の副作用がでたりすることがありますので、家族と医師、保健婦、ソーシャルワーカーの密接な連けいが大切です。

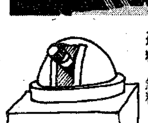
（新潟市医師会）

プラネタリウム スライド原画と天文写真展



プラネタリウム誕生以来、天文に興味をもたれる方がふえています。この天文愛好者の要望に応え、プラネタリウム投影に使用のスライドの原画と天文研究グループの撮影による天文写真展を行います。

日時 二月七日～二月二十二日午前九時～午後六時
会場 新潟郵便貯金会館六階プラネタリウムロビー（川岸町二、☎32—0101）
入場料 無料



マイクロコンピューター入門教室

マイクロコンピューターが、オフィスに、お店に急速に普及しています。マイコンを使いこなす勉強をあなたもどうぞ。実際にマイコンを使って学習します。

日時 2月25日から3月25日まで毎週水曜日午後6時半～8時半（計5回）
会場 鳥屋野地区公民館
講師 伊藤成樹
定員 30人
経費 3,000円（テキスト代等）
申し込み 2月7日までに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、返信用封筒を同封して鳥屋野地区公民館（〒950 新和113—30）へ

中地区親子紙ねんど教室

紙ねんどを使って、人形やえんぴつ立てなどを1品作ります。

日時 2月14日、28日午後1時～4時
会場 中地区公民館
対象 親子20組（先着順）
経費 材料費1,000円程度
持参品 小さめのビン（ビールビンを除く）、パレット、水入れ、ふで、下じき、おてふき、エプロン
申し込み 2月12日までに中地区公民館（☎71—0017）へ

石山ギター教室会員募集

初心者の方、歓迎します。

練習日 毎週金曜日午後7時～9時
会場 石山地区公民館音楽室
講師 大沢正雄
会費 月2,000円
連絡先 吉田美弥（☎76—1305）へ

児童図画、工作作品展
— 特殊学級（小学校） —

期日 2月7日～2月11日
時間 午前9時半～午後4時半
会場 グリーンプラザ（上大川前5）
内容 市内小学校特殊学級、養護学校の児童図画、工作を展示
主催 小学校教育研究協議会ほか

～会員募集～ ペン習字「春友会」

日時 毎週土曜日午後1時半～3時（月3回）
会場 北部公民館
対象 ペン習字を勉強したい方
指導 細野春華
会費 月2,000円（含テキスト代）、入会金1,000円
申し込み 小林あさ（☎22—7069）へ

西地区婦人交歓会
—子どもの未来を考えよう—

日時 2月12日午前9時半～午後3時
会場 西地区公民館
内容 ●分科会（午前10時～正午）

第1分科会	0～3歳児について	津川町保健課長 池田琇子
第2 〃	4～6歳児について	松の実保育園々長 福田孝子
第3 〃	小学校低学年児童について	小瀬小学校々長 早川ムツ
第4 〃	小学校高学年児童について	市補導センター指導主事 高橋安昭
第5 〃	中学生以上の子どもについて	元内野中学校々長 大滝睦夫

●**講演**（午後1時～3時）「明るい家庭づくり」…講師：藤村誠（西内野小学校校長）
経費 800円（昼食代）
申し込み 西地区公民館（☎61—0031）へ